



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2020.6.4 No.374

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

党杉並区議団の提案が実現

新型コロナ対策 区独自支援が拡充

5月29日から杉並区議会第2回定例会が開会しました。会期は6月17日までとなります。今議会では、新型コロナウイルス感染症対策に関する諸施策が審議されます。党区議団は、区民・事業者支援の抜本的拡充等を求め論戦に臨みました。

事業者への区独自家賃支援等 党区議団の要請に方針示す

党区議団の質疑では、区民・事業者の厳しい実態を明らかにし、他区の先進施策など参考にして区としても支援を拡充するよう提案しました。

区は、区民生活を守るため区内事業者への区独自の家賃支援、就学援助世帯への昼食費相当額の補助、ひとり親家庭への独自支援を、それぞれ検討していると答弁しました。

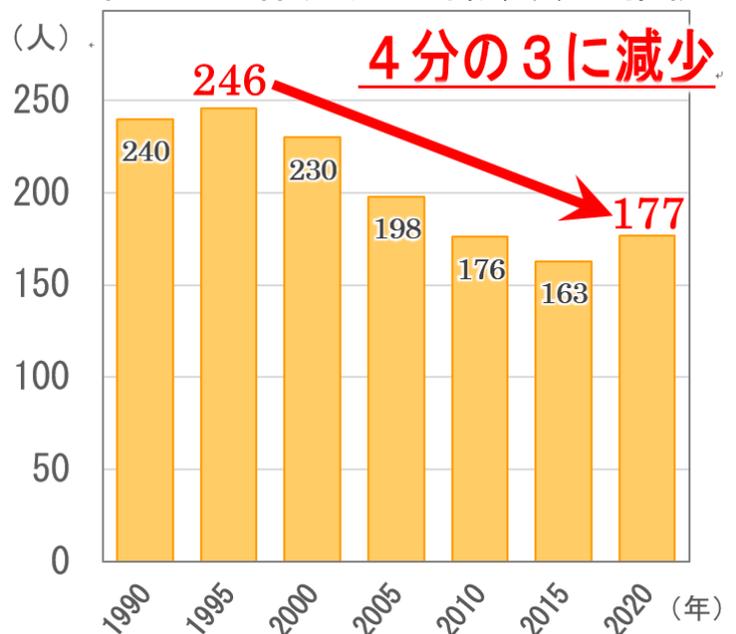
区独自の支援策の拡充については、アンケート等に寄せられた声を受け、議会や申し入れなどで提案してきました。今後、さらなる支援策の拡充が求められますが、区民の声に応え、杉並区が独自で支援策を実施することは重要です。

保健所では常勤職員が大幅削減 長期化を見据え抜本的強化を

1990年代から全国的に保健所体制が削減されています。新型コロナウイルス感染症拡大の長期化に備え、検査強化とともに保健所機能の抜本強化が求められます。

党区議団の調査により、区保健所でも常勤職員が1995年の246人から177人へ、70名近く削減されたことが明らかとなりました(右下)。

■ 杉並区の保健所常勤職員数の推移



職員数が削減された結果、今回の新型コロナウイルス対応では、保健所の現場職員に負担が集中しています。また、区民からの新型コロナウイルスに関する問い合わせ対応で人員が不足するなど、区民サービスも低下していました。

この間の職員削減の事実には区も認めましたが、保健所の体制については、今後も区役所内での応援体制や、派遣・委託などで対応すると答弁しました。今回の深刻な事態を経験しながら、保健所体制の抜本的な強化に後ろ向きな姿勢であることは問題です。

これまでの職員削減方針を見直し、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化を見据え体制拡充に取り組むべきです。

(裏面に続く)

表面続き

検査体制拡充と医療機関支援を

PCR検査体制の抜本的強化を

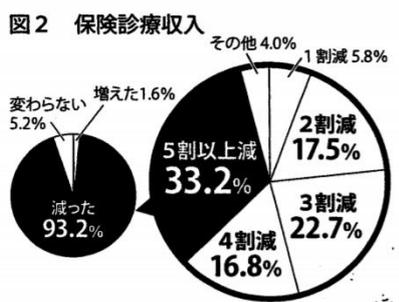
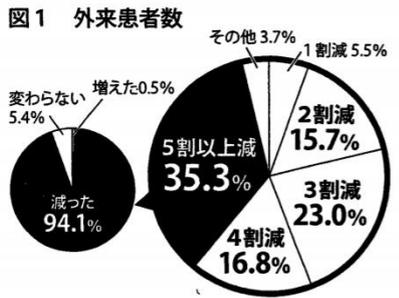
感染拡大をいち早く察知するためには、PCR検査のスピードと量を現状より拡充することが重要です。杉並区では他区に先駆け発熱外来を設置し、PCR検査を行なっていますが、検査人数が多くなると結果が出るまでに3〜4日を要するのが現状です。

質疑では、検査体制の抜本的強化の必要性についての区の認識を確認するとともに、ドライブスルー方式等のPCR検査の導入や、検査車両の導入など、新たな検査方式の検討を行なうよう提案しました。

区は、検査強化の必要性を認め、生活衛生課分室での検査の実施準備を進めているとし、新たな検査方式については、必要性や実現の可能性などについて研究していくと答弁しました。

区内民間医療機関への財政的支援を

地域医療体制の強化も喫緊の課題です。区内医療機関からは、新型コロナウイルス禍で、外来患者が約3割減少したとの声が党区議団にも届いています。杉並区が区内4つの基幹病院に対し、感染患者受け入れに伴う減収への財政支援を行ったことは、地域の医療崩壊を食い止めるために非常に重要です。質疑では、こうした支援を継続するとともに、4病院以外の民間医療機関への支援拡充を提案しました。



東京保健医新聞（5月5・15日合併号）より緊急会員アンケート結果。外来患者数の減少、診療収入減少が深刻化している。

区は、医療機関への支援は本来、国・都の役割であるとしたうえで、今後の支援継続や、他の医療機関への支援拡充については、区や都の支援の動向と今後の感染拡大の状況を踏まえて改めて検討すると答弁しました。

新型コロナウイルス感染症対策に関わる支援策一覧をまとめた杉並区議団ニュースが全戸配布されています。

連日、多くの住民から、ご好評をいただいています。杉並区議団ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

今週の「コマ」

ツイッターに寄せられた声
『はじめまして。杉並区荻窪に住む者です。今日、杉並区議団ニュースがポストに入りました。見やすい、分かりやすい、非常に親切、これぞ政治のニュース紙だと感動しました。これからは杉並区を住みやすくなるよう、よろしくお願い致します。』
これからは頑張ります！

日本共産党杉並区議団ニュースNO. 396 新型コロナ対策支援策特集が大好評

日本共産党・杉並区議団ニュース No.396
新型コロナウイルス感染症関連支援策特集 (5月18日時点の情報)

日本共産党杉並区議団は、この間度々わたり新型コロナウイルス感染症から市民のいのちや暮らしを守るため、区へ申し入れを行ってきました。また、アンケート等でみなさんから寄せられた声を区に届け、一層実現してきたものもあります。ここでは新型コロナウイルス感染症関連の支援策を紹介していますので、ぜひご活用ください。

特別定額給付金
住民基本台帳に記録されているすべての方に、一律一人10万円を給付
0120-798-063
8:30〜18:30 (土日祝祭日)

給付・貸付・猶予が利用できる主な制度

個人対象	制度名	概要	問い合わせ先
家族の支払い負担	経路調整給付金	任意で申請できるが、申請費、審査料、返済手数料が免除される。月給3000円、返済期間：最長55回(55000円)	03-3391-1751
	子育て世帯	子育て世帯への給付金(児童手当)の申請料が免除される。児童手当の申請料が免除される。	03-3312-2111
	大学等学費の支払い負担	大学等学費の申請料が免除される。申請料が免除される。	03-5307-0761
	国民健康保険料の支払い負担	国民健康保険料の申請料が免除される。申請料が免除される。	03-5307-0641
事業者対象	感染予防対策	感染予防対策の費用が補助される。感染予防対策の費用が補助される。	03-5307-0328
	営業時間短縮	営業時間短縮の費用が補助される。営業時間短縮の費用が補助される。	03-3361-4402
	感染予防対策	感染予防対策の費用が補助される。感染予防対策の費用が補助される。	03-5307-0328
	営業時間短縮	営業時間短縮の費用が補助される。営業時間短縮の費用が補助される。	03-3361-4402

貸付・かりもの	生活等での生活が困難	ひとり親家庭	年金保障の給付が困難	納税が困難	生活が困難
03-5306-2611 03-3398-9104 03-3332-7221	03-5307-3134	03-5306-2611 03-3398-9104 03-3332-7221	03-5307-0654 03-5307-0645 03-5307-0651	03-5307-0634 03-5307-0635 03-5307-0636	03-5306-2611 03-3398-9104 03-3332-7221
事業者対象	03-5308-0567	03-5320-4771 03-5320-4881	03-5320-4787		

新型コロナウイルス感染症に関わる支援策等をまとめて紹介しています。